

ロイヤルカナンが推奨する犬と猫のダイエットフード選び いぬのきもち・ねこのきもちカレッジWEBセミナーで講演 寿命の差が約2年！愛犬・愛猫の「健康体重」

栄養学に基づいた犬と猫のプレミアムペットフードおよび食事療法食を展開するロイヤルカナン ジャパン(本社:東京都港区、社長:山本 俊之)は、11月に開催された『いぬのきもち』『ねこのきもち』カレッジのWEBセミナー「知っておきたい愛犬・愛猫の『健康体重』」の中で、「ダイエットのためのフード」について講演。セミナーでは、肥満か健康体重かにより寿命で約2年の差が出る可能性について触れ、愛犬・愛猫の「健康体重」を知り維持することの大切さを紹介するとともに、ダイエットのためのフード選びについての講義を行いました。



■ 愛犬・愛猫が肥満になると寿命に影響が

『いぬのきもち』『ねこのきもち』WEBセミナーでは、日本では珍しいペットの24時間救急病院である日本動物医療センター(東京都・渋谷区)院長の上野弘道先生と副院長の富田夏子先生、同病院グループで原宿犬猫クリニック院長の本間梨絵先生が、犬と猫の「健康体重」の大切さと健康管理についての講義を行いました。「『ペットはまんまるの身体が可愛い』と思いがちで、『肥満が健康問題』であると認識していなかったりします。しかし今は健康でも、太っていることで様々なリスクが潜んでいます。例えば、肥満になると、犬も猫も健康体重的な状態に比べ、寿命が約2年も短くなると言われています。さらに肥満の犬は関節・運動器障害のリスクが標準体重の犬に比べて約2倍、心臓病など循環器障害のリスクは約4倍です。また、猫は糖尿病のリスクが4倍、関節疾患のリスクが5倍になることがわかっています。」(上野先生)と警報を鳴らしました。上野先生は、犬と猫が病気になりにくい「健康体重」について、愛犬・愛猫の太っている・痩せているについては自己判断ではなく、動物病院で、体重・体型など総合的に診断してもらうことを推奨し、「動物病院と連携して、ぜひ愛犬・愛猫の『健康体重』を知ってください」とアドバイスしました。



日本動物医療センター院長
上野弘道 先生


■ 自己判断は禁物！動物病院をパートナーにして二人三脚で

富田夏子先生は、愛犬の健康管理について講義を行い、オオカミを祖先に持つという説がある犬の「ため食い、早食い」の習性と、満腹を感じにくい性質を持つことに触れ、ご家族様による食事管理の必要性についてお話しされました。「ヘルシーと思われる野菜や、脂質が少なく高タンパク質の馬肉、腸内環境のためのヨーグルトなど、愛犬のことを思いフードにトッピングするペットオーナーもいらっしゃいます。確かに栄養学的なメリットもありますが、その分のカロリー調整が必要になります。」(富田先生)



日本動物医療センター副院長
富田夏子 先生

まずは動物病院に相談に行くことが大切とし、日本動物医療センターで実施している「体型評価のための『ボディ・コンディション・スコア』でチェック。そして、食事内容・量、散歩の状況などの生活環境を聞き取り、その犬ごとの太るきっかけを把握し、それをもとに生活習慣に関するアドバイスやフードの推奨、ダイエットの期間やペースなどを一緒に設定します。人と同じでダイエットは継続が大切。動物病院をパートナーにすることで、二人三脚で継続することができます。」と、動物病院のサポートの重要性を伝えました。

	<p>BCS 1-2 …やせている 遠くからでも肋骨が見える、簡単にさわれる</p>		<p>BCS 3 …やせている 肋骨が簡単に見える、さわれる</p>
	<p>BCS 4-5 …適正 腰のくびれがはっきりとわかる 肋骨は見えないが、簡単にさわれる</p>		<p>BCS 6 …太り気味 腰のくびれがはっきりしていない 肋骨は見えないが、なんとかさわれる</p>
	<p>BCS 7-8-9 …太っている 腰のくびれがわかりづらい、全くない 肋骨は見えず、ほとんどさわれない、または、全くさわれない</p>		

■ 愛猫が肥満になると寿命に影響が

また、本間先生からは猫の体重管理についての講義を行い、「猫は散歩の習慣がなく、また犬に比べて去勢・避妊をしている割合が高いので太りやすいと言えます。一方、猫を病院に連れてくるのは飼い主にとってストレスになる場合があり、犬に比べ経過をチェックする機会が少ないのが実情です」として、自宅でもできる猫の肥満チェックを教えてくださいました。

自宅で行う猫の肥満チェック

- 高いところに上らなくなった
- 怒りっぽくなった
- 玄関に迎えに来なくなった
- 眠っている時間が多くなった
- トイレに行く回数や量に変化した など



日本動物医療センターグループ
原宿犬猫クリニック院長
本間梨絵 先生

「好みの変化や個性と思っていたことが、実は『肥満』によってできなくなっていることがあります。怒りっぽくなるなどは、もしかすると関節炎など身体に不調があるのかもしれませんが。玄関に迎えに来ない、トイレで粗相などは、活動量が減っているのが原因であることも考えられます。肥満によって糖尿病、肝臓のトラブル、泌尿器の病気発生のリスクも高まります。室内でもできる運動があります。キャットタワーを設置する、食事やお水を飲む場所を複数設置するなどで自然とカロリー消費量を上げることもできます。目安として、一日10～15分程度一緒に遊んであげるのがいいでしょう。」と運動についてのアドバイスと同時に

好みがはっきりしている猫のダイエットフード選びには、「動物病院に相談していただくのが一番いいと思います。」と、やはり病院との二人三脚でのダイエットの大切さを語りました。



■ 一般フードでのダイエットは健康リスクが。動物病院に相談して専用フードを。



ロイヤルカナン ジャポン
獣医師・サイエンティフィック
コミュニケーション マネージャー
原田洋志

愛犬・愛猫のダイエットを決意したペットオーナーのために、ロイヤルカナン ジャポンの獣医師でサイエンティフィック コミュニケーション マネージャーの原田洋志が登場。「健康体重」を維持することを基本に設計されている一般のフードで量を減らすと、カロリーは減るが同時に必要な栄養素が不足するリスクに触れ、「カロリーを減らしても必要な栄養素が摂れるダイエット用フードを選ぶことが大切。低カロリーフードや体重管理用フードには、『健康体重の維持』が目的のもと、『体重を減らす』ためのものがあり、必ずしも低カロリー＝ダイエットフードではありません。また、ダイエットフードであっても、ゆっくり時間をかけて体重を減らすようつくられたフードと、短期間に体重を減らす目的でつくられたフードもやはり設計が異なります。愛犬・愛猫にあったものを探しましょう」とアドバイス。また、「匂いが広がりやすいウェットフードは、犬と猫が『美味しい』と感じやすく、また水分を含むため、カロリーもドライフードに比べ1/3から1/5低くなりますので、活用してみてください。」と語りながら、どの程度カロリーを減らして、

どのぐらいのペースでどのぐらいの期間行えばよいか、など視聴者からの質問については、「一頭一頭の犬と猫によって違います。まずは動物病院へ相談すると、フード選びも含めアドバイスをしてもらうことができます。」と、病院への相談の大切さを伝えました。

■ 肥満解消でモデルデビュー！「健康体重測定キャンペーン」を実施中！

大切な愛犬・愛猫の健康は、まず「健康体重」を知ることです。まずは、動物病院を訪れ、今の体重や体形の状況を獣医師の先生に診断してもらうためのキャンペーンを実施しています。動物病院で体重と「ボディ・コンディション・スコア」を測定※し、写真を送付すると、全員にロイヤルカナン ジャポンのノベルティをプレゼント。さらにInstagramに投稿すると『いぬのきもち』『ねこのきもち』から抽選で30名にクオ・カードが。また、もし肥満と診断された場合、ロイヤルカナンのダイエットフード「満腹感サポート」を使用しての2カ月減量プログラムにチャレンジ。減量に成功した犬と猫各1組は、プロのカメラマンによる撮影で『いぬのきもち』『ねこのきもち』4月号の裏表紙に掲載されます。

詳細は、<https://pet.benesse.ne.jp/tu/rc/2011.html> を御覧ください。

※診療には事前に動物病院へ問い合わせが必要です。検診の費用はご応募者様負担です。

【キャンペーン概要】

キャンペーン名	「健康体重」測定キャンペーン
URL	https://pet.benesse.ne.jp/tu/rc/2011.html
応募期間	～2021年1月31日(日)
応募方法	Step 1 動物病院で体重と「ボディ・コンディション・スコア」を測定 Step 2 応募フォームに必要事項を入力 Step 3 愛犬・愛猫の画像を添付
プレゼント	応募者全員に、写真を撮るとき、おもちゃをつけて愛犬・愛猫の視線を合わせるための『いつでもベストショットクリップ』をプレゼント
プレゼント第2弾	健康体重に挑戦している様子をInstagramに投稿。応募期間中に3回以上の投稿で、『いぬのきもち』『ねこのきもち』からクオ・カードを抽選で30名様にプレゼント Step 1 愛犬・愛猫との写真を撮影 Step 2 ハッシュタグをつけて写真を投稿 #目指せ健康体重 Step 3 期間中に3回投稿



『いぬのきもち』『ねこのきもち』4月号でモデルデビュー！2か月減量プログラム

動物病院で肥満と診断された場合は、『満腹感サポート』を使用した2か月間の減量プログラムに参加できます。※減量に成功した犬・猫各1組はプロカメラマンの撮影により、『いぬのきもち』『ねこのきもち』4月号裏表紙のモデルとして登場。※

応募期間 ～2021年3月31日(水)

※ 参加ご希望の場合は、病院にご相談ください。病院によってはご参加いただけないこともあります。

※ 雑誌撮影については、当選者にのみ追ってご連絡いたします。

上記キャンペーンに関するお問い合わせ先

<https://enquete.benesse.ne.jp/forms/o/we7e5d6868/form.php>

(いぬのきもち ねこのきもちお問い合わせフォーム)